

小学3年生からの夢でした

家でいつもたくさん犬を飼って、動物が大好きという菅井さん。子どもの頃から散歩や餌やりだけでなく、シャンプーやカットまでお世話を引き受けてきたそうで、トリマーになるということも、小学校3年生のときには決めていたのだといいます。

フェリーチェに入って2年目。「オーダーによっていろんなカットをするのが難しいけど、ワンちゃんが自分のカットで可愛くなっていくのが楽しいです。嫌がる子には、大丈夫だよ、気持ちいいよと言いながらなで、安心してもらうようにしています」といい、大好きな犬たちに囲まれる仕事が本当に楽しいと話します。

犬たちに向けてるまなざし

「最近流行っている犬種のワンちゃん達も可愛いんですけど私は大きめの雑種ちゃんが大好きなんです」と目を細めます。「飼い主さんから話を聞くと、元は捨て犬だったり、処分されるはずだったワンちゃんを引き取ったなど。行き場がなかったのが、飼い主さんのお陰でこんなにきれいな

にしてもらって幸せそうにしているんですよね。それを見ると、私も幸せな気分になります」。菅井さんはそんな視点で犬たちを見つめます。というのも、実はご両親がボランティアで引き取り手のいない犬の里親探しをしているから。ご両親の活動を間近に見て育ち、幸せそうなワンちゃんを相手にする仕事に就いたからこそ、不幸な境遇の動物に目を向けずにはいられません。

フェリーチェでの取り組み

最近捨てる犬の中に、ペットショップで売られているようなブランド犬も目立つのだとか。流行の犬種は特に飼育放棄が多くなるそうです。「ワンちゃんは何も悪くない。人間の都合でなぜ」と菅井さんは心を傷めます。フェリーチェでも、里親探しやチャリティ活動に取り組んでいるとのこと。快く協力してくださるお客さまが多いとのこと、そんなお客さまとのやりとりにも喜びを感じています。

夢をかなえ、確かな手応えを感じ始めている菅井さん。充実感いっぱいフレッシュな笑顔が印象的でした。 **P**



笑顔こんにちは

ペットサロン フェリーチェ

菅井 由果さん

SUGAI YUKA

トリマー。常にたくさんの犬を飼う家庭で育ち、小さいころから動物の世話に慣れ親しむ。トリマーという職業は小3からの夢。専門学校で学んだ後フェリーチェの一員となり、現在2年目。